

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信 vol.174

発行：令和6年4月25日 袋井市教育委員会

5歳児と小学校1年生の指導者による「就学前教育推進会議」開催



【5歳児と1年生の学習内容について情報を共有】

幼保こ小の連携・接続のために



【連携活動の充実のため、対話を重ねる指導者】

袋井市が進める幼小中一貫教育は、人格形成の時期である幼児教育を充実させることに最も重きを置き、それを学校教育に円滑につなげることを目指しています。特に、5歳児と小学校1年生の2年間を「架け橋期」と呼び、幼児教育と学校教育のつながりを重視した教育を進めるため、市内すべての幼稚園・保育園・認定こども園等と小学校が連携・協力し、様々な取組を行っています。

4月11日には、昨年度の5歳児クラスの指導者と、今年度の小学校1年生の担当教員が市教育会館に集まり、この取組の充実のために情報共有と今後の指導について話し合う会議を開催しました。

今後も園の職員が小学校を訪問し、1年生の授業を参観したり、1年生の担任と子どもたちの様子について話したりする「幼保こ小連絡会」を計画的に実施していきます。

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

